

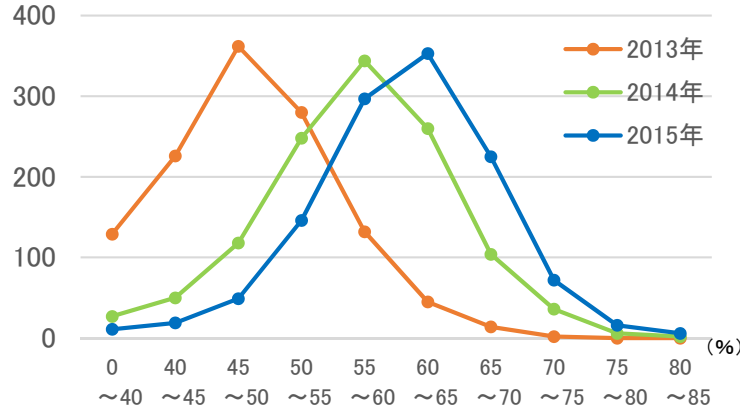
# 後発医薬品使用割合の地域差

- 基礎自治体ごとに後発医薬品使用割合を見ると、既に国全体での目標値(2017年央に70%以上、2018~2020年度までのなるべく早期に80%以上)を達成している団体が一定数存在している一方で、関東、近畿、四国地方で使用割合の低い自治体が比較的多くみられる。
- KPIの目標値達成に向けて、使用割合を向上させるための取組を幅広く実施していくことが必要。

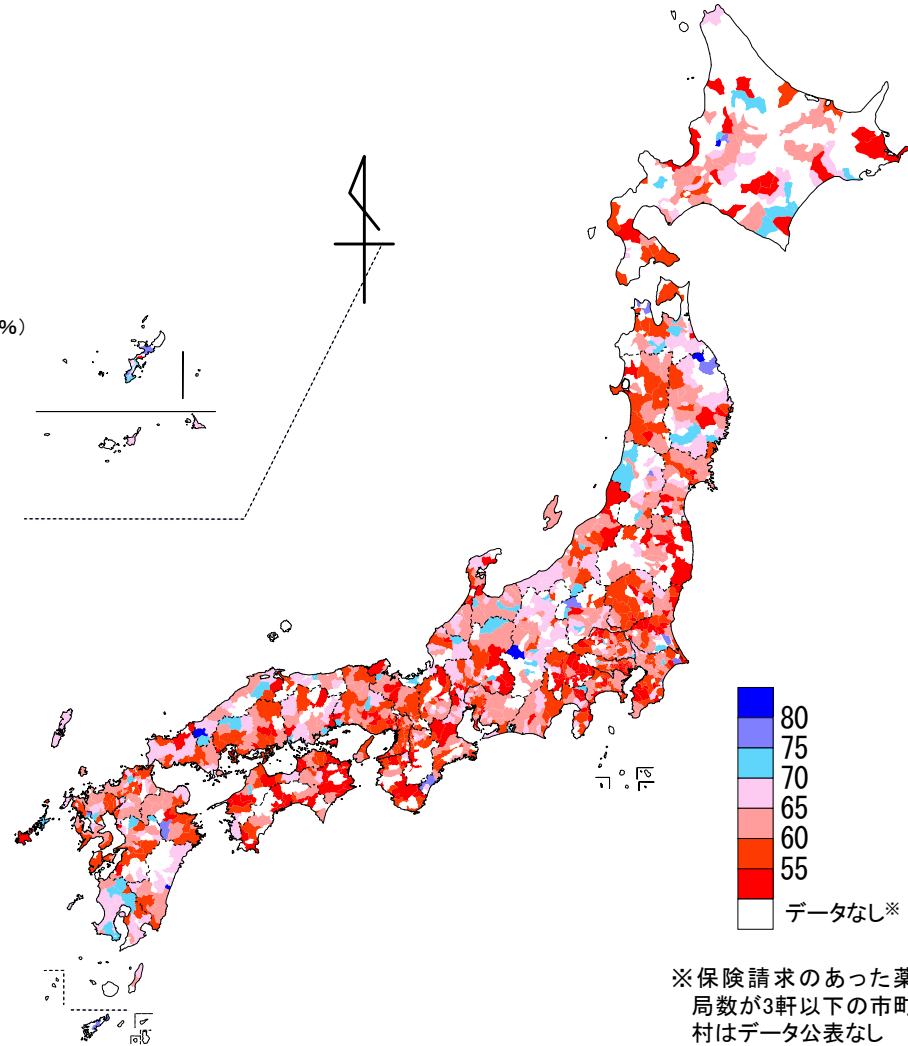
＜後発医薬品使用割合(2015年)  
80%以上の自治体＞

自治体名	使用割合 (%)
北海道 砂川市	81.4
岩手県 軽米町	82.6
長野県 木曾町	80.2
島根県 津和野町	80.2
宮崎県 新富町	82.1
沖縄県 与那原町	81.9

(自治体) ＜後発医薬品使用割合の度数分布＞



＜後発医薬品使用割合(2015年)の地域差＞



＜後発医薬品使用割合(2015年)70~80%の自治体＞

自治体名	使用割合 (%)	自治体名	使用割合 (%)	自治体名	使用割合 (%)	自治体名	使用割合 (%)
北海道 赤平市	77.4	茨城県 行方市	77.0	長野県 小布施町	70.7	長崎県 川棚町	72.4
北海道 士別市	71.7	茨城県 利根町	75.2	長野県 飯綱町	73.9	長崎県 波佐見町	75.6
北海道 滝川市	72.3	群馬県 富岡市	72.6	岐阜県 飛騨市	70.2	長崎県 新上五島町	71.9
北海道 倶知安町	73.9	群馬県 中之条町	79.3	岐阜県 八百津町	70.9	熊本県 山鹿市	72.9
北海道 浦河町	70.1	群馬県 長野原町	71.1	静岡県 湖西市	70.2	熊本県 小国町	73.9
北海道 大樹町	73.1	埼玉県 八潮市	72.2	静岡県 小山町	71.7	大分県 竹田市	75.9
北海道 幕別町	70.0	埼玉県 三郷市	72.0	愛知県 豊山町	72.6	鹿児島県 指宿市	71.7
北海道 釧路町	72.5	埼玉県 嵐山町	73.7	三重県 熊野市	76.4	鹿児島県 霧島市	73.8
青森県 平川市	71.4	千葉県 旭市	78.9	京都府 与謝野町	71.9	鹿児島県 奄美市	76.0
青森県 外ヶ浜町	77.0	千葉県 芝山町	71.8	兵庫県 赤穂市	73.3	鹿児島県 南九州市	74.2
青森県 野辺地町	72.1	千葉県 白子町	78.3	兵庫県 多可町	71.5	鹿児島県 伊佐市	72.5
青森県 七戸町	73.3	東京都 日の出町	72.1	鳥取県 湯梨浜町	74.5	鹿児島県 さつま町	73.5
岩手県 久慈市	79.9	新潟県 見附市	73.6	島根県 雲南市	71.7	沖縄県 那覇市	75.3
岩手県 陸前高田市	73.9	新潟県 湯沢町	73.3	島根県 吉賀町	72.9	沖縄県 宜野湾市	73.5
岩手県 奥州市	70.5	富山県 小矢部市	71.6	岡山県 笠岡市	70.4	沖縄県 浦添市	76.5
宮城県 塩竈市	73.5	富山県 立山町	72.7	岡山県 瀬戸内市	71.0	沖縄県 名護市	75.5
山形県 鶴岡市	72.1	福井県 小浜市	71.4	広島県 北広島町	72.7	沖縄県 糸満市	74.6
山形県 酒田市	71.1	福井県 勝山市	71.0	愛媛県 砥部町	71.4	沖縄県 豊見城市	72.2
山形県 大石田町	77.2	長野県 駒ヶ根市	72.8	福岡県 宮若市	70.5	沖縄県 うるま市	71.1
山形県 川西町	70.7	長野県 箕輪町	74.0	福岡県 吉富町	70.2	沖縄県 南城市	72.8
福島県 国見町	70.9	長野県 松川町	74.5	佐賀県 嬉野市	70.0	沖縄県 北谷町	71.9
茨城県 稲敷市	70.8	長野県 高森町	73.6	佐賀県 基山町	74.5	沖縄県 八重瀬町	74.6

(備考) 厚生労働省:「調剤医療費の動向調査」を基に作成。分析に利用したデータは、近日中に「経済・財政と暮らしの指標『見える化』データベース」に収録予定。